

## Ⅱ 水産試験場整備事業

昭和24年11月現在位置に水試を新築して20年経過したが、その間、水産業の進展に対応する水試の態勢は、人的にも設備関係においても甚だ不充分であった。このため昭和42年度から水試整備についての検討を始め現在位置に建設する運びとなった。水試整備の基本的考え方は次のとおりである。

- (1) 漁業の動向に対応して新しい試験研究への着手とその結果の導入普及体制の確立
- (2) 最近の学問技術水準の進歩に対応していく施設の整備
- (3) 水試の業績が、漁業者に受入れられるよう反省し、漁業者と密接な関連をもち親しまれる試験研究であること。

水試整備の経過概要は次のとおりである。

昭和42年12月

沿岸漁業構造改善事業審議会内に水試整備部会を設置した。

昭和43年4月

水試整備基本方針の検討

昭和43年6月

水試整備に関し日本水産資源保護協会に診断依頼

昭和43年9月

日本水産資源保護協会より診断結果報告

昭和43年12月

沿岸漁業構造改善事業審議会において、水試整備部会報告にもとづく答申内容決定。審議会長より知事に答申

昭和44年5月

桂設計事務所、樟設計事務所に設計委託

昭和44年8月

建築、設備関係入札、建築は同和建設KKに落札、着工

昭和44年10月

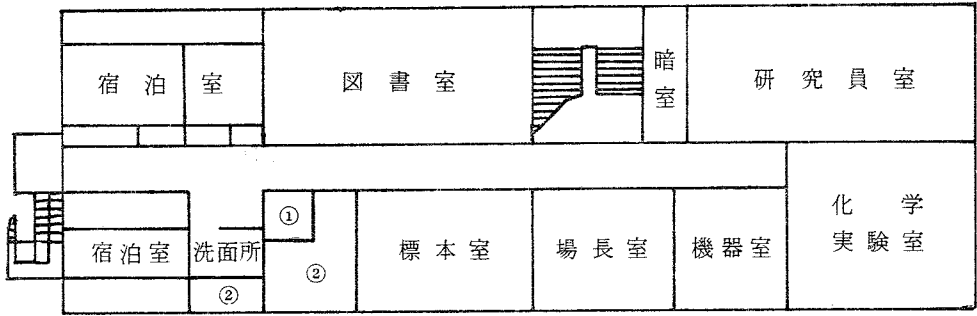
電気関係入札

昭和45年4月

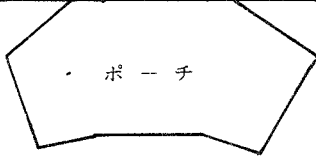
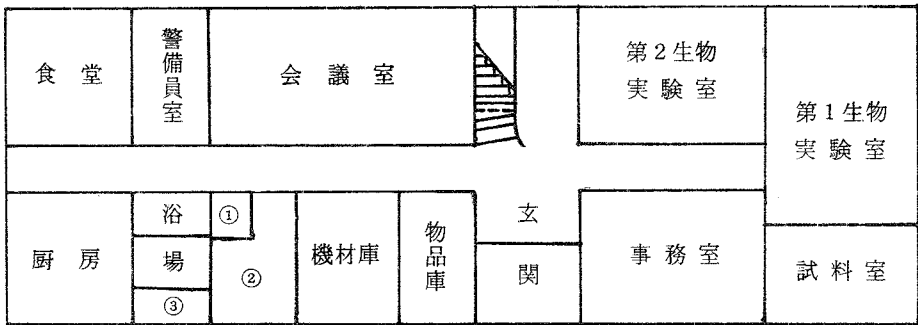
竣工

施設概要

土地		3,327,450 <i>m</i> <sup>2</sup>	
建物		1,703,760	
本館		936,000	
漁貝倉庫		64,800	
機械室		38,880	
車庫		25,920	
焼却炉		1,500	
種苗供給施設		636,660	
実験管理棟		160,380	
飼育培養棟		476,280	
貯水槽		109,000	
地下貯水槽		84,000	
高架水槽		25,000	
淡水飼育棟 (旧建物)		100,440	
倉庫 (旧建物)		77,760	
予算額	82,681,000 円		
建築	44,350,000	}	81,232,000 円
設備 (機械)	28,200,000		
電気	8,682,000		
土地買収費	440,000	}	500,000 円
賃借料	60,000		
造成工事		}	949,000 円
建築、設備変更			



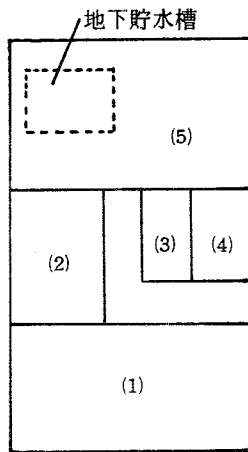
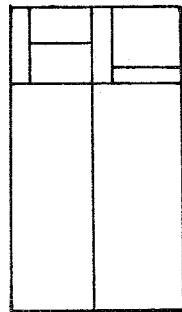
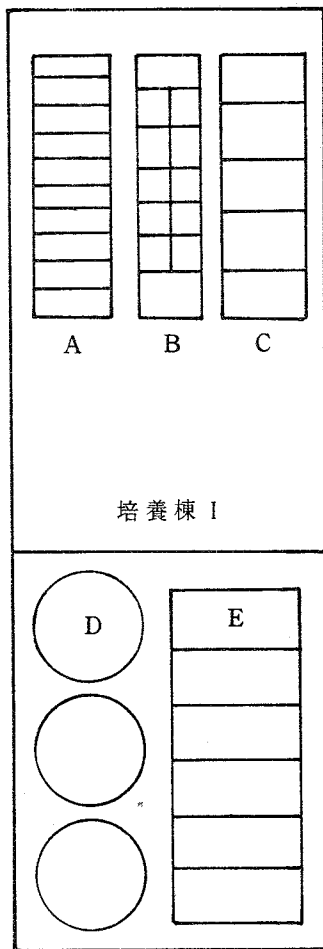
2 階



1 階

- ① 湯沸場
- ② 便所
- ③ ボイラー室

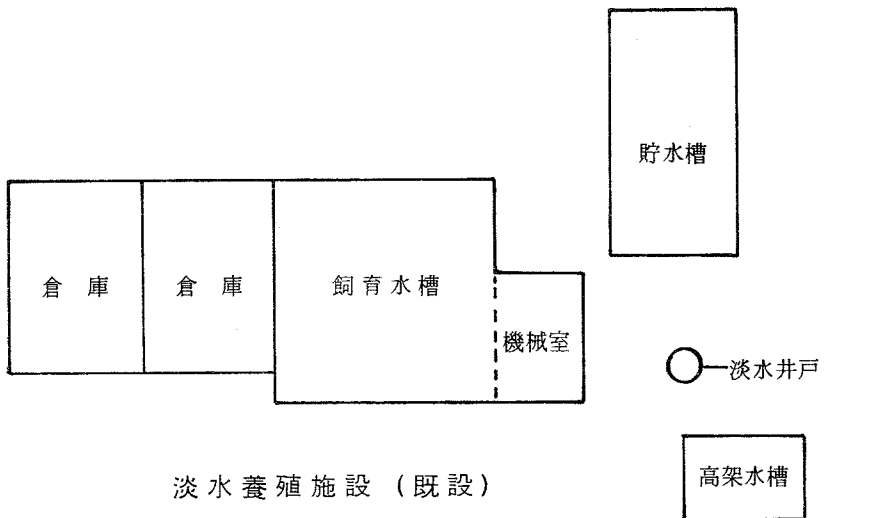
本館平面図



屋上高架水槽



浅海養殖施設



1. 揚水施設	揚水井 (コンクリート集水槽) (3.0×2.4×2.0 m)	1 基		
	揚水ポンプ (ステンレス・タービンポンプ) 15PS 45m <sup>3</sup> /H	1 基		
2. 実験管理棟				
(1) 実験室	屋上高架水槽	25 m <sup>3</sup>		
(2) 恒温室	三連式恒温ボックス	温度調節範囲 5~25℃±1℃		1 式
		内容積 0.8×0.8×0.8m 照度 3,000 lux		
	空気調温機	温度調節範囲±15~20℃ (外気温)		1 基
	培養棚	照明付 3 段		
(3) 冷凍室	冷凍機	5 P S 庫内温度 -20℃以下		1 基
(4) 調飼室				
(5) 機械室	海水温度調節装置	水温調節範囲 8~25℃±1℃		1 式
	(アクアトロニ)	海水能力 2~3m <sup>3</sup> /H		
	主要機械	チェーリングユニット 38,200 kcal/H		2 基
		温水ボイラー 70,000 kcal/H		1 基
		熱交換器 チタンプレート 2 セクション方式		1 基
	給水装置 (ポンプ)	モーター・エンジン付 7PS 60m <sup>3</sup> /H		1 基
		〃 5PS 30m <sup>3</sup> /H		1 基
		モーター付ケミカル 2PS 14m <sup>3</sup> /H		1 基
	給気装置	エアー・コンプレッサー (モーター・エンジン付)		1 基
		5PS 783 l/m		
	貯水槽地下	6 m <sup>3</sup>		
3. 沈澱・炉過・貯水槽	沈澱槽	4 面 7.0 m <sup>2</sup>		
	炉過槽	2 面 7.8 m <sup>2</sup>		
	貯水槽	3 面 115 m <sup>3</sup>		
4. 培養棟 I	飼育培養水槽	27 面 534 m <sup>3</sup>		
(4 系統海水配管)	A 飼育水槽	28×0.9×0.8m 10 面 2.0 m <sup>3</sup>		
	B 〃	0.8×1.2×0.8 10 面 0.8 m <sup>3</sup>		
		1.7×1.5×0.8 2 面 2.0 m <sup>3</sup>		
	C 〃	2.7×1.95×0.8 5 面 4.2 m <sup>3</sup>		
	移動用水槽			
5. 培養棟 II				
(2 系統海水配管)	飼育培養水槽	9 面 89.5 m <sup>3</sup>		

- |    |      |           |                         |                      |
|----|------|-----------|-------------------------|----------------------|
|    | D    | 飼育水槽 (円型) | 半径 185m×水深 0.8・1.0・1.2m | 3面                   |
|    | E    | 〃         | 2.0×4.9×水深 0.8・1.0・1.2m | 6面                   |
| 6. | 淡水井戸 | 水中ポンプ     | 3 P S                   | 15 m <sup>3</sup> /H |

### 一般配置図

